2026年9月期
通期決算説明資料

株式会社ミライロ（東証グロース：335A）



MIRAIRO

Copyright Mirairo Inc.

会社概要

1. 会社概要 p2

2. 2026年9月期 通期決算ハイライト p18

3. 2026年9月期 事業トピックス p25

4. 2027年9月期 業績予想 p31

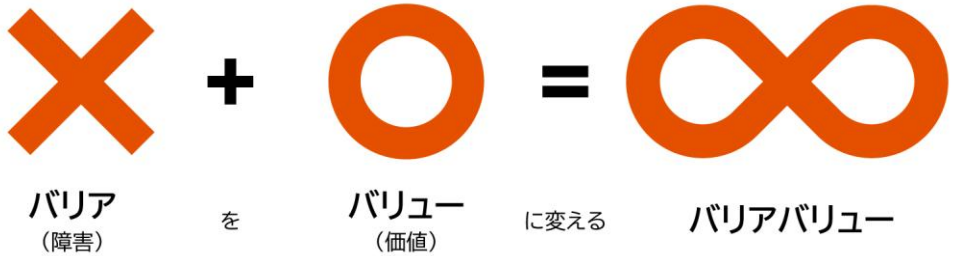
Copyright Mirairo Inc.

ミライロについて①

代表取締役社長
垣内俊哉



企業理念



社　名	株式会社ミライロ
設　立	2010年6月
事　業	①障害者に向けたデジタルプラットフォーム「ミライロID」の運営 ②法人や自治体に向けたユニバーサルデザインのソリューション提供
拠　点	大阪本社（大阪市淀川区西中島三丁目8番15号） 東京支社（東京都品川区東五反田五丁目26番5号）

Copyright Mirairo Inc.

ミライロについて②

受賞歴	
2018年2月	Japan Venture Awards 2018 経済産業大臣賞 受賞
2018年2月	関西財界セミナー賞 2018 特別賞 受賞
2020年11月	J-Startup KANSAI 選定
2021年10月	デジタル社会推進賞
2022年1月	財界・経営者賞 受賞
2022年1月	経済界・金の卵発掘プロジェクト2021グランプリ 受賞
2022年10月	グッドデザイン賞 受賞
2022年11月	PRIDE指標　最高評価 ゴールド　6年連続受賞
2023年4月	知財功労賞　特許庁長官表彰 受賞
2023年6月	日本スタートアップ大賞2023　厚生労働大臣賞　受賞
2025年7月	日本DX大賞2025 優秀賞 受賞
2025年12月	第5回日本サービス大賞　厚生労働大臣賞 受賞
2025年12月	EY アントレプレナー・オブ・ザ・イヤー2025 Japan　選考委員特別賞 受賞

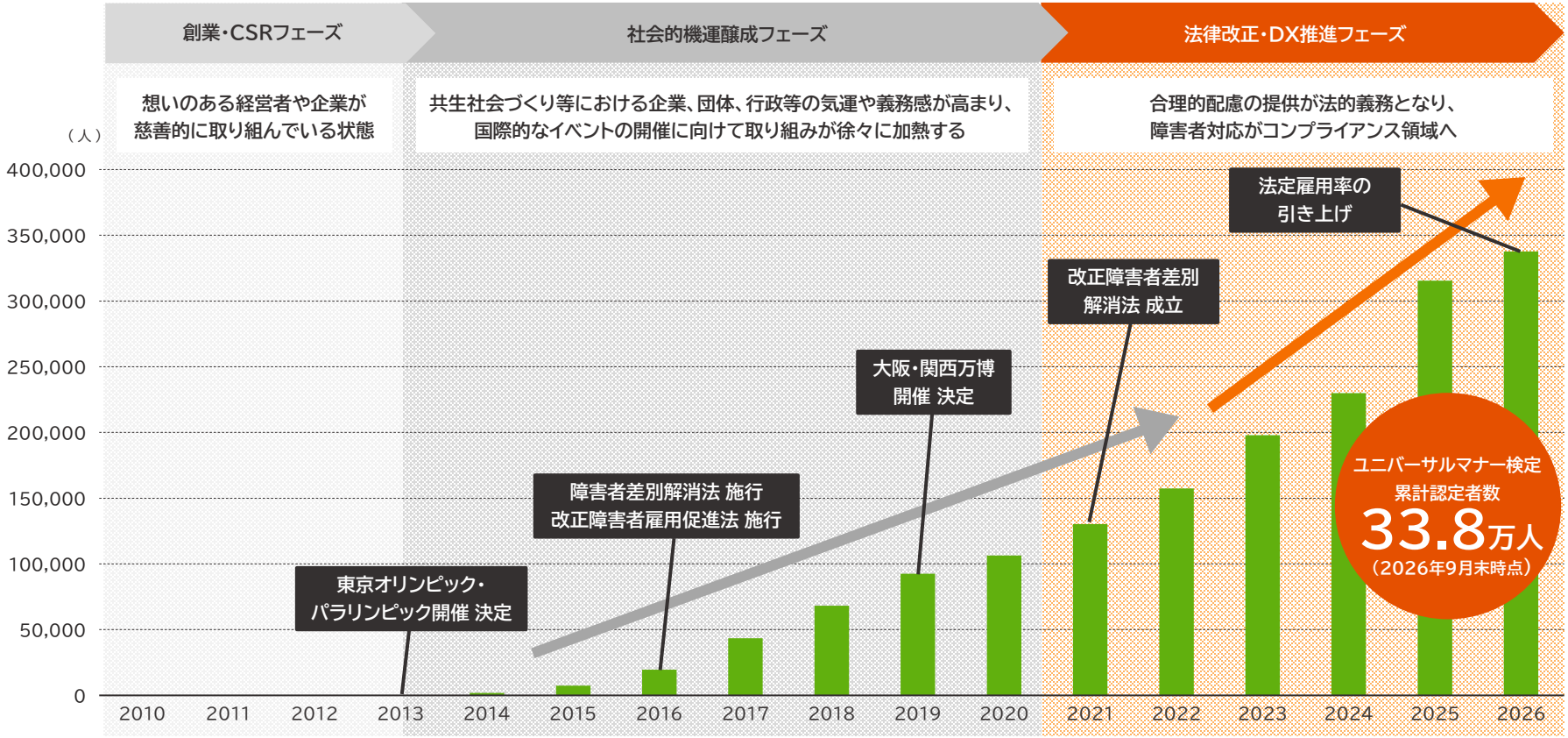
関連団体
一般社団法人日本ユニバーサルマナー協会（ユニバーサルマナー検定の認定）

主な株主（五十音順 2026年9月末時点）
大阪市高速電気軌道株式会社
花王株式会社
京王電鉄株式会社
住友林業株式会社
西武鉄道株式会社
東京海上日動火災保険株式会社
日本生命保険相互会社
株式会社三菱UFJ銀行
ヤマトホールディングス株式会社

株主数
5,252名（2026年9月末時点）

Copyright Mirairo Inc.

ミライロについて③



Copyright Mirairo Inc.

ミライロが取り組む社会課題



環境のバリア

建物や設備・製品における課題

意識のバリア

障害理解における課題

情報のバリア

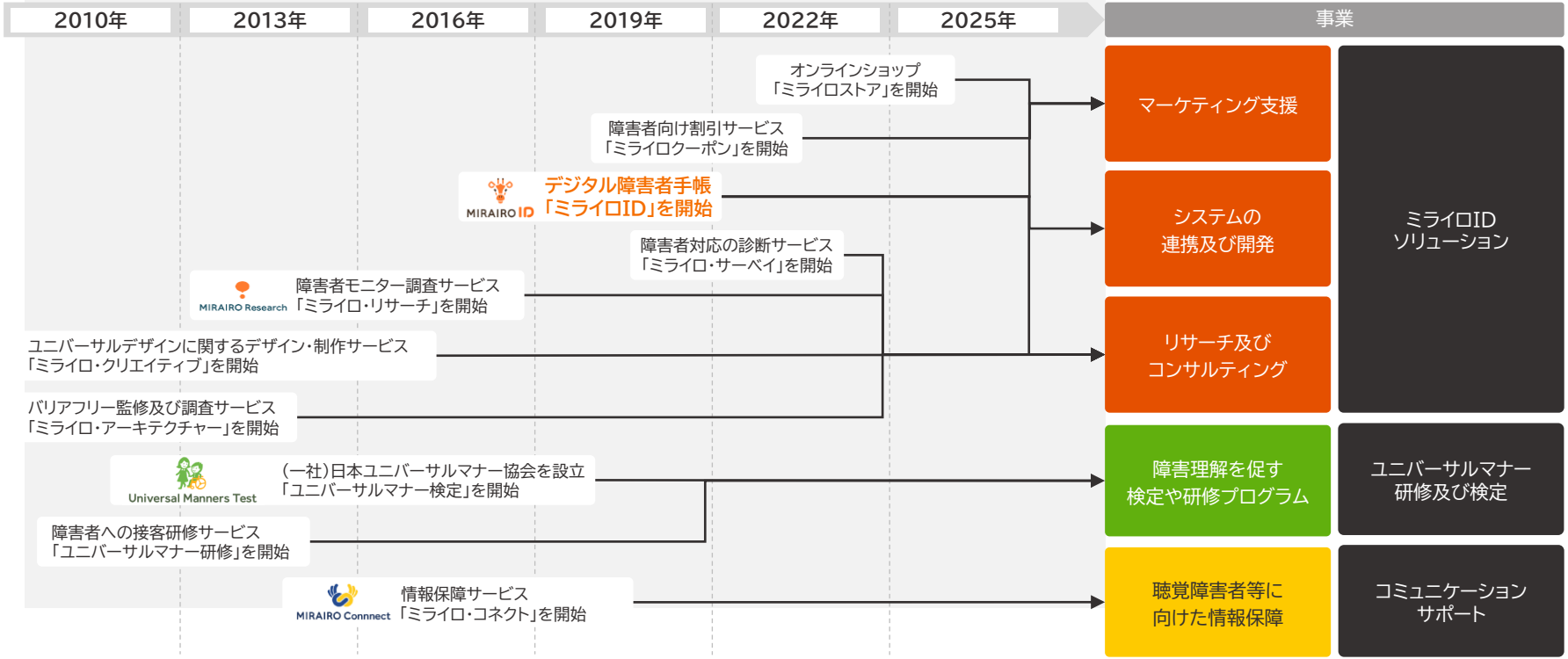
情報の取得や意思疎通における課題

社会に存在する「環境・意識・情報」のバリアを解消し、価値に変える

Copyright Mirairo Inc.

ソリューションの変遷

創業以降、障害のある当事者視点を活かし、環境、意識、情報のバリア解消に繋がるソリューションを生み出し続ける。
ミライロIDをリリース後は、障害者プラットフォームを活かした事業モデルに集約を進め、より高付加価値な事業に変化。



Copyright Mirairo Inc.

ソリューションの特徴と価値

障害のある顧客や従業員の対応など、社会的なバリアの解消に向けた複合的なソリューションを保有。
ミライロIDによる障害者プラットフォームを軸に、専門的知見やシステムも駆使し、高付加価値な事業構造を構築。

事業		特徴	提供価値
ミライロID ソリューション	マーケティング支援	• 障害者プラットフォームへの広告やクーポンの配信、製品の販売などが可能 • クローズドマーケットに対して、独自の割引設定やパーソナルデータを活かしたアプローチが可能	• 企業姿勢の発信やブランディング • 潜在的な市場や顧客の新規開拓・売上増
	システムの 連携及び開発	• デジタル化された障害者手帳情報を用いたAPI連携や連携に向けたシステム開発を実施 • 従来紙での対応が必須であった障害者情報の認証や割引対応、連携によるアプリ間送客も可能	• オペレーションコストの低減 • デジタルを用いた法令遵守対応
	リサーチ及び コンサルティング	• 国内最大規模の障害者データを活かした定量・定性的なリサーチやコンサルティングを実施 • 法定対応に対する現状把握のためのサーベイや環境整備に向けたコンサルティング対応	• 潜在的なニーズ把握 • 事前的改善措置 ※1（環境整備）への対応
ユニバーサルマナー 研修及び検定	障害理解を促す検定 や研修プログラム	• 障害理解において国内最多となる33.8万人の認定者数※2と高い満足度の検定プログラム • 業界特化型など独自のプログラムを開発 • eラーニングや現地派遣など多様な受講形式	• 行動変容によるCS向上や雇用率の改善 • 法令違反や風評被害等のリスク低減
コミュニケーション サポート	聴覚障害者等に 向けた情報保障	• 遠隔での手話通訳サービスや手話・文字通訳者の現地派遣など、多様な情報保障サービスを提供 • 専門性を有する多数の手話通訳者や文字通訳者が在籍	• 聴覚障害者の仕事のパフォーマンス向上 • 事前的改善措置 ※1（環境整備）への対応

※1 事前的改善措置とは、施設のバリアフリー化、意思表示やコミュニケーションを支援するためのサービスや人的支援、情報アクセシビリティの向上など、 環境の整備のことです。
※2 当社調べ。人数は2026年9月末時点の累計認定者数。

Copyright Mirairo Inc.

障害者と社会を繋げるライフプラットフォーム「ミライロID」



障害者手帳を「紙」から「デジタル(ミライロID)」へ

障害者の移動や生活をもっと便利に、もっと自由に。

手帳代替 / 情報配信 / ECストア / クーポン / マップ / チケット / 情報連携

事業者の課題

292種類のフォーマット

事業者・障害者の課題

紛失や個人情報の漏洩リスク

障害者の課題

手帳提示による心理的負担

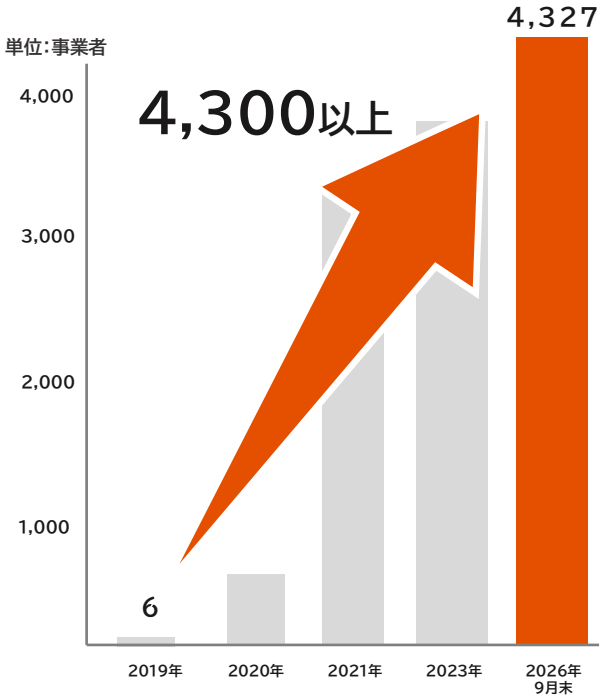
Copyright Mirairo Inc.

社会との連携により広がる共感の輪



マイナポータル連携により公的な信頼を得られたこと等がきっかけとなり、鉄道をはじめとする障害者割引を有する企業での導入が急拡大。継続的に官公庁とも連携し、アプリの認知を拡大。

▼導入事業者数の推移



▼ミライロIDのこれまでの歩み

18年7月	障害者手帳の電子化に向けた検討を開始
19年1月	国土交通省:交通事業者への現物確認不要の通知が発出
19年7月	ミライロIDのiOS、Android版を同日リリース
20年6月	内閣官房:マイナポータルとミライロIDが連携
20年6月	内閣官房:事業者へのミライロIDの導入推奨の通知が発出
20年10月	鉄道局:ミライロIDを手帳同様として認める通知が発出
21年3月	JR各社を含む全国鉄道会社123社がミライロIDを採用
21年4月	自動車局:ミライロIDを手帳同様として認める通知が発出
21年7月	障害者割引価格のオンラインチケットの提供を開始
21年7月	内閣官房:オンライン予約の障害者対応を要請する通知が発出
21年10月	デジタル社会推進賞(デジタル庁)を受賞
22年8月	駐車場精算機とミライロIDが連携
23年6月	「日本スタートアップ大賞2023」(経済産業省)にて厚生労働大臣賞を受賞
24年1月	ミライロIDにて、オンラインストアの提供を開始
25年3月	厚生労働省:全国の自治体に向け、障害者への周知を要請する通知が発出
25年7月	「日本DX大賞2025」(日本DX 大賞実行委員会)にて SX部門 優秀賞を受賞
25年12月	「第 5 回日本サービス大賞」(公益財団法人日本生産性本部)にて厚生労働大臣賞を受賞

Copyright Mirairo Inc.

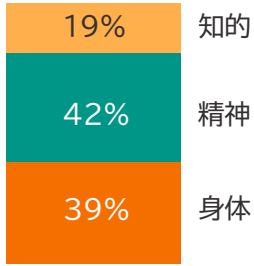
ミライロIDのユーザー数と特徴

2026年9月末にユーザー数は70万人を突破し、毎月約1万人のペースで増加を続ける。
障害者の人口統計と比較して20～50代のユーザーが多い傾向にあり、外出頻度が高く、企業に勤める障害者の割合も高い。

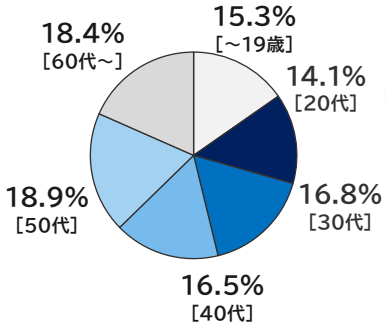
▼ユーザー数の推移



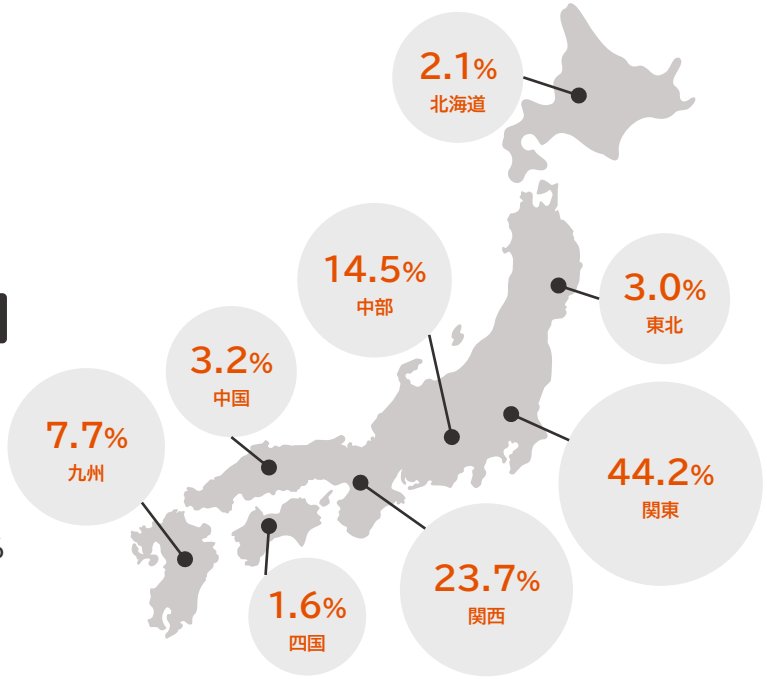
手帳種別



年齢



エリア分布（最終利用地域）



※2026年は9月末時点。手帳種別・年齢・エリア分布も同時点

Copyright Mirairo Inc.

ミライロIDの3つの強み

類似アプリが存在しない大規模な障害者プラットフォーム

- マーケティング活用の広がり
- 先行した行政や企業との連携、特許による参入障壁の高さ

デジタル上のあらゆる障害者対応の必須ツール

- 障害者の本人認証の簡素化
- 障害者割引決済の円滑化

創業来培ってきた専門的ソリューションとの連動

- 専門的知見と当事者データに基づくコンサルティングやシステム開発

Copyright Mirairo Inc.

ミライロIDソリューションについて

デジタル障害者手帳「ミライロID」のプラットフォームやデータベースを基盤としたソリューションを提供。
アプリによる直接的サービス提供、システム連携によるサービス提供、データ等を基にしたコンサルティングを実施。

障害者		ミライロ	ソリューション	顧客
身体障害者 知的障害者 精神障害者 合計1,164万人	サービス利用等 → ← 割引情報等	障害者手帳情報 障害種別や等級 旅客運賃減額等 パーソナル情報 身体や精神特性 （上肢機能、全盲等） 使用機器等 （電動車いす、白杖等） 求めるサポート 約70万人 （2026年9月末時点のユーザー数） デジタル障害者手帳 MIRAIRO ID	← ¥ 収益 マーケティング支援 広告やクーポン掲載による来店や購入促進等	主要な顧客 あなたと、コンビに、FamilyMart / J!NS / Hospitality Restaurant Royal Host
	アプリ連携等 → ← 割引や特典等		← ¥ 収益 システムの連携及び開発 障害者手帳の認証やパーソナル情報の連携等	主要な顧客 Coke ON / S.RIDE / Orchestrating a brighter world NEC
	調査協力 → ← ¥ 謝礼		← ¥ 収益 リサーチ及びコンサルティング 調査データや報告書の納品等	主要な顧客 Kao / KOKUYO / ヤマト運輸

¥ 収益分類：①スポット収益（単発広告、調査データ納品等） ②リカーリング収益（クーポン利用料、システム連携料等） ③トランザクション収益（販売手数料等）

Copyright Mirairo Inc.

ユニバーサルマナー研修及び検定について

障害のある当事者の視点から、障害者など多様な方々に対する理解促進や対応方法のレクチャーを実施。
法律や当事者心理の理解による接客時や職場のリスク軽減に加えて、資格を企業姿勢の発信としても活用が可能。
業界や企業ごとのニーズに応じたオリジナルプログラムも提供し、高い満足度と継続的な受注を目指す。

(一社)日本ユニバーサルマナー協会	ミライロ	ソリューション	顧客
ユニバーサルマナー検定 累計認定者数 約33.8万人 (2026年9月末時点)	障害のある 当事者講師 16名 (2026年9月末時点) ・車いす使用者 ・全盲 ・弱視 ・人工内耳装着者等	ユニバーサルマナー検定 検定プログラムの提供 検定やオリジナル プログラムの提供	主要な個人顧客 ・DE&IやCS推進担当等 企業従事者等 ・接客業を目指す学生等 ・親の介護者や子育て層 主要な法人顧客 西武鉄道 MARUI GROUP ヤマト運輸
		講演・研修・サービス提供等 講師の派遣、研修の作成等	主要な顧客 品川女子学院 SHINAGAWA JOSHI GAKUIN MS&AD あいおいニッセイ同和損保



資格認定
認定の委託等

¥ 収益
¥ 収益
¥ 収益



¥ 収益分類:①スポット収益(単発講演、プログラム開発費等) ②定期発注型収益(新入社員や新入生、管理職向けの検定等)

Copyright Mirairo Inc.

ユニバーサルマナー検定について

障害理解の促進と行動変容を促すプログラム

- 「ユニバーサルマナー」とは、多様な方々へ向き合うためのマインドとアクションのことを指す当社が作成した造語
- 「ハードを変えることができなくても、ハートは今すぐ変えられる。」というコンセプトを軸に、障害者や高齢者など、多様な顧客や従業員との向き合い方を伝えるプログラムを展開
- 検定プログラムは、3級～1級のカリキュラムに加えて、業界や職種に合わせたオリジナルのプログラム作成も実施







満足度 98% ※

認定者数 33.8万人
（2026年9月末時点）

導入事業者数 約1,300社
（2026年9月末時点）

ユニバーサルマナー検定３級の概要

ユニバーサルマナーとは／人と人の違い／障害の社会モデル／障害者や高齢者の生活・心理／基本姿勢



課題を解決するには自身の側に変化が必要なことに気づく

障害のある当事者から多様な人々との向き合い方を学ぶ

一歩踏み出すことの不安を取り除き心のブレーキを外す

違いの理解が進み、高い確率で行動変容が起きる

目的	社内の意識醸成と行動変容
時間	1.5時間
形式	eラーニング／オンライン／対面
講師	障害のある当事者講師



※ 個人向けユニバーサルマナー検定の受講者約4,000名（2024年4月～2025年3月受講者）に対する当社アンケートにおける満足度の回答結果

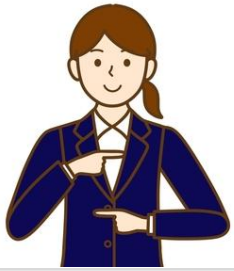


Copyright Mirairo Inc.

コミュニケーションサポートについて

聴覚・言語障害者の方々が社会参加しやすいように、手話や文字通訳等の情報保障サービスを提供。
システムを用いた遠隔での通訳対応に加えて、イベント、会議、研修など、様々な場面への通訳者の派遣も実施。

手話・文字通訳者	ミライロ	ソリューション	顧客
手話通訳者 文字通訳者など	ブース対応等 → ¥ 給与・報酬 通訳対応等 → ¥ 給与・報酬	登録通訳者 161名 （2026年9月末時点） ・手話通訳士（資格保有） ・手話通訳者（実務経験3年以上等） ・パソコン要約筆記経験者等 MIRAIRO connect	¥ 収益	遠隔での情報保障サービス 遠隔でのリレーサービス等	主要な顧客：日本生命、NIPPON EXPRESS、KONICA MINOLTA
			¥ 収益	職場、イベント等の情報保障 情報保障のコーディネート	主要な顧客：MUFG、JTB、Panasonic INDUSTRY
			¥ 収益	講座及びコンサルティング 手話講座や専門的知見の提供	主要な顧客：U-CAN 生涯学習のユーキャン、SEKISUI HOUSE、LAWSON



¥ 収益分類：①スポット収益（単発の通訳者派遣、初期費用等） ②リカーリング収益（サービス利用料等） ③トランザクション収益（従量課金等）

Copyright Mirairo Inc.

情報保障の提供

聴覚障害者の53%が企業の情報保障に不満を持っており※、手話や文字による情報保障を提供することで、
聴覚障害者の希望と企業対応におけるギャップを解消し、希望に沿った情報保障を提供することが求められる。



● 聴覚障害者の希望する情報保障と企業対応のギャップ

コミュニケーション手段	聴覚障害者の希望	企業の対応
手話通訳	59.3%	27.2%
自動音声認識システム	59.3%	39.5%
文字通訳	39.5%	8.6%
筆談	39.5%	56.8%
口話	23.5%	49.4%

cf.ミライロ「聴覚障害者の職場環境に関するWebアンケート調査結果」令和3年

内容



手話・文字通訳派遣
（導入例）
会議/研修/面接/イベント等



手話リレーサービス
（導入例）
金融機関のコールセンター等



遠隔手話通訳
（導入例）
行政窓口/医療機関等



動画字幕や手話挿入
（導入例）
研修動画/サービス紹介動画等



ツールの導入
（導入例）
社内会議/研修/イベント

要件

目的	聴覚障害者とのコミュニケーション支援
通訳	手話／文字
形式	現地／オンライン
担当	手話通訳者／文字通訳者
備考	音声文字化アプリ等のツール導入支援も可

※当社が実施した「令和3年 聴覚障害者の職場環境に関するWebアンケート調査結果」における現状の職場の情報保障に関する満足度の回答結果

Copyright Mirairo Inc.

2026年9月期 通期決算ハイライト

1. 会社概要 p2

2. 2026年9月期 通期決算ハイライト p18

3. 2026年9月期 事業トピックス p25

4. 2027年9月期 業績予想 p31

Copyright Mirairo Inc.

2026年9月期 通期 業績ハイライト

2026年9月期は、ミライロIDの基盤拡大や新規事業投資を推進。
一方、大型案件の減少や新規事業の収益貢献の遅れにより減収減益となり、下方修正後の業績予想も下回るなど、収益面で課題を残した。

売上高	売上総利益	営業利益	経常利益	当期純利益
786百万円	494百万円	81百万円	84百万円	59百万円
前年比 94.5% 予算比 97.0%	前年比 88.7% 予算比 97.9%	前年比 57.7% 予算比 91.6%	前年比 68.3% 予算比 92.8%	前年比 73.5% 予算比 95.9%

業績概要 トピックス

- 前期の大阪・関西万博関連案件等の反動に加え、新規大型案件の受注不足により減収
- サービス提供体制の強化や新規事業等に向けた人員拡充に伴う費用増加により減益
- ミライロ・キャリアはサービスを開始したものの、想定した収益貢献には至らず
- ミライロIDのユーザー数は70万人を突破、導入事業者数は4,327事業者に拡大

Copyright Mirairo Inc.

損益計算書（2026年9月期 通期）

売上高は前期比5.5%減。前期の大型案件の反動に加え、新規大型案件の一部が受注に至らなかったことなどから、すべての事業で減収。
売上高の減少と売上原価の増加により売上総利益は同11.3%減となり、販売費及び一般管理費は微減したものの、営業利益は同42.3%減。

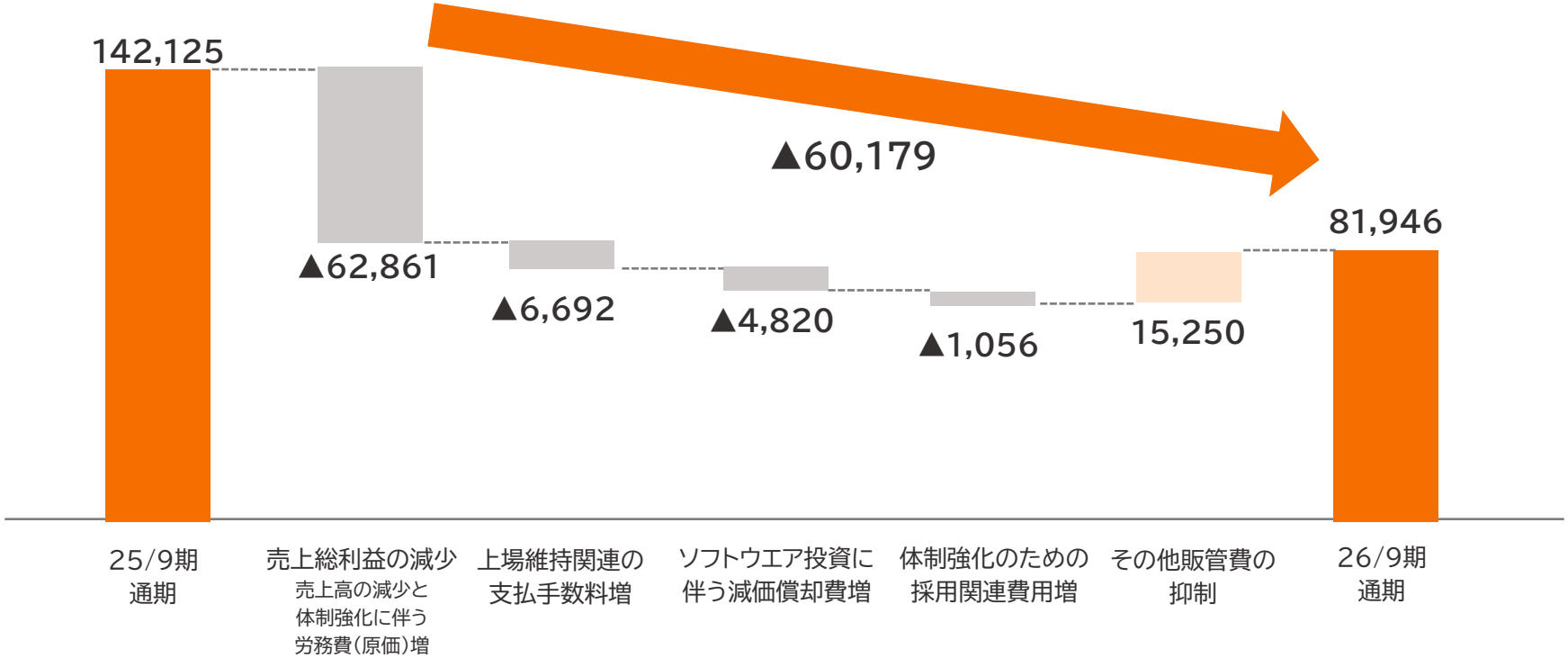
（単位：千円）	2025年9月期（通期）		2026年9月期（通期）		
	実績	売上比	実績	売上比	前期比
売上高	832,291	100.0%	786,394	100.0%	94.5%
ミライロIDソリューション	276,155	33.2%	263,098	33.5%	95.3%
ユニバーサルマナー研修及び検定	364,370	43.8%	337,801	43.0%	92.7%
コミュニケーションサポート	191,765	23.0%	185,494	23.6%	96.7%
売上原価	275,131	33.1%	292,096	37.1%	106.2%
売上総利益	557,160	66.9%	494,298	62.9%	88.7%
販売費及び一般管理費	415,034	49.9%	412,352	52.4%	99.4%
営業利益	142,125	17.1%	81,946	10.4%	57.7%
経常利益	123,006	14.8%	84,018	10.7%	68.3%
当期純利益	81,472	9.8%	59,918	7.6%	73.5%
EBITDA（営業利益＋減価償却費＋敷金償却）	174,162	20.9%	118,803	15.1%	68.2%

Copyright Mirairo Inc.

営業利益の増減要因

売上高の減少と体制強化に伴う労務費(原価)の増加により売上総利益が減少。上場維持関連等の支払手数料や
ソフトウエア投資に伴う減価償却費、採用関連費用の増加も影響した一方、その他販管費を抑制した結果、営業利益は前期比60,179千円減少。

(単位:千円)



Copyright Mirairo Inc.

貸借対照表（2026年9月期末）

ミライロIDの機能拡張に伴う投資によりソフトウエアは前期末比18,094千円増加。借入金の返済により有利子負債は同59,748千円減少し、純資産は同59,938千円増加。自己資本比率は75.2%から81.7%へ6.5ポイント改善。

（単位：千円）	2025年9月期	構成比	2026年9月期（通期）	構成比	前期末比増減
流動資産	1,025,478	87.5%	1,000,431	86.8%	△25,046
現金及び預金	904,017	77.1%	873,113	75.7%	△30,903
売掛金	97,947	8.4%	86,318	7.5%	△11,628
固定資産	146,500	12.5%	152,393	13.2%	+5,893
ソフトウエア	71,710	6.1%	89,805	7.8%	+18,094
繰延税金資産	35,378	3.0%	21,869	1.9%	△13,509
資産合計	1,171,979	100.0%	1,152,825	100.0%	△19,153
流動負債	237,992	20.3%	173,647	15.1%	△64,344
短期借入金及び1年内返済予定の長期借入金	109,748	9.4%	64,748	5.6%	△45,000
固定負債	52,063	4.4%	37,316	3.2%	△14,747
長期借入金	51,278	4.4%	36,530	3.2%	△14,748
純資産	881,923	75.3%	941,861	81.7%	+59,938
負債・純資産合計	1,171,979	100.0%	1,152,825	100.0%	△19,153
（自己資本比率）	75.2%	-	81.7%	-	+6.5ポイント

Copyright Mirairo Inc.

キャッシュ・フロー計算書（2026年9月期）

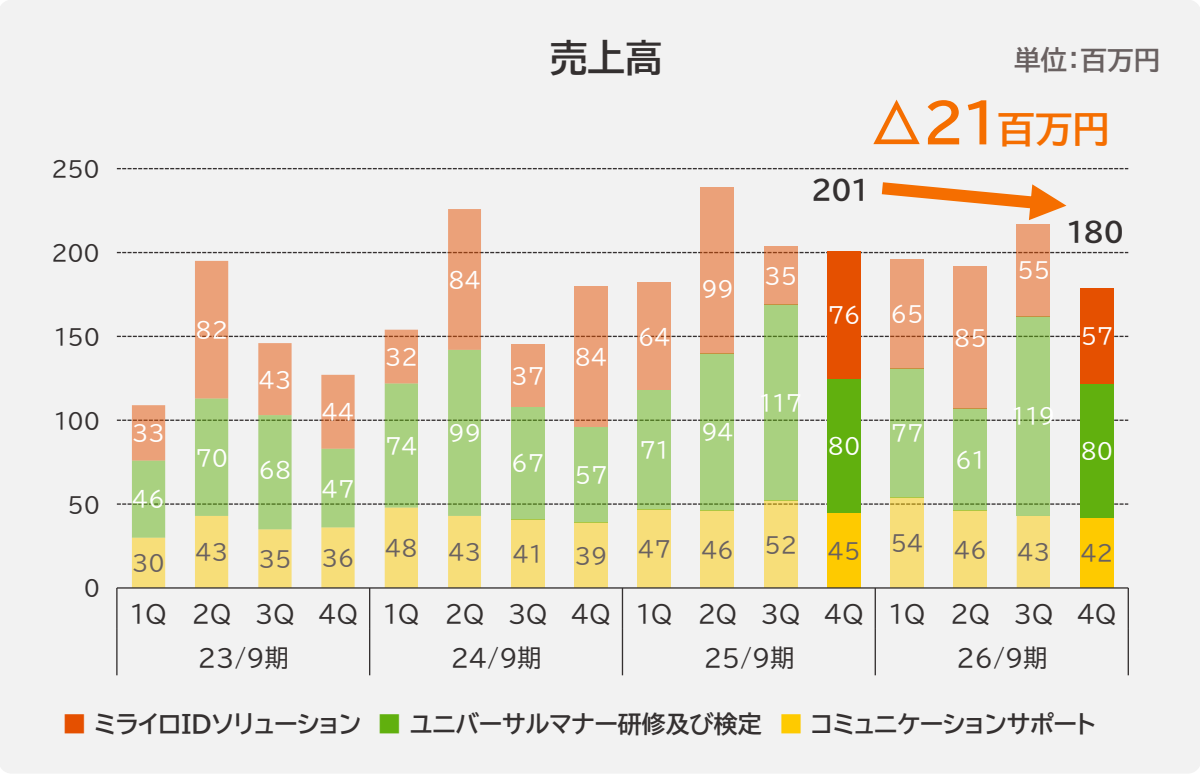
営業活動によるキャッシュ・フローは80,124千円のプラス。一方、定期預金への預入やソフトウエア投資、
借入金の返済により、現金及び現金同等物は前期末比330,903千円減少し、期末残高は573,113千円となった。

（単位：千円）	2025年9月期	2026年9月期
営業活動によるキャッシュ・フロー	179,057	80,124
税引前当期純利益	123,006	84,018
減価償却費	31,388	36,209
売上債権の増減額（△は増加）	△11,405	△9,454
法人税等の支払額	△1,201	△27,659
投資活動によるキャッシュ・フロー	△41,025	△351,298
無形固定資産の取得による支出	△37,777	△48,403
定期預金の預入による支出	―	△300,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	344,221	△59,728
長期借入金の返済による支出	△98,608	△14,748
株式の発行による収入	388,704	―
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	482,253	△330,903
現金及び現金同等物の期末残高	904,017	573,113

Copyright Mirairo Inc.

四半期ごとの業績推移

第4四半期の売上高は180百万円（前年同期比89.2%）。ユニバーサルマナー研修及び検定は前年同期並みを維持した一方、ミライロIDソリューションを中心に減収となり、通期売上高は前期比5.5%減の786百万円で着地。



■ミライロIDソリューション

- ユーザー数70.0万人、MAU25.7万人、導入事業者数4,327事業者
- ヤマト運輸「クロネコメンバーズ」とのシステム連携
- 国土交通省の鉄道介助申請の標準化調査に参画
- 「ミライロID インバウンド版」の提供を開始
- 人材紹介サービス「ミライロ・キャリア」を開始

■ユニバーサルマナー研修及び検定

- 累計認定者数33.8万人（2026年9月末時点）
- ユニバーサルマナー検定（鉄道）5,000名突破
- 法定雇用率の引き上げに伴う企業のニーズに即した「ユニバーサルマナー検定（雇用）」の提供を開始
- ドコモグループ独自の研修プログラムを共同開発

■コミュニケーションサポート

- 東京2025デフリンピックに合わせ、ファミリーマート48店舗にオンライン手話通訳サービスを期間限定導入

Copyright Mirairo Inc.

2026年9月期 事業トピックス

1. 会社概要 p2

2. 2026年9月期 通期決算ハイライト p18

3. 2026年9月期 事業トピックス p25

4. 2027年9月期 業績予想 p31

Copyright Mirairo Inc.

「ミライロID」と「クロネコメンバーズ」のシステム連携を開始

「ミライロID」と「クロネコメンバーズ」の連携により、利用者が登録した配達時の要望をドライバーに共有。手帳の提示・確認にとどまらず、本人の希望や必要な配慮をサービスに活かす、ミライロIDの活用拡大につながる取り組み。

要望を登録すると、ドライバーに届く



ユニバーサルマナー検定から始まった
両社の関係が、システムの連携へ

対象

配達時の要望を、あらかじめ登録

要望の共有

登録した内容をドライバーの端末に共有

安心した受け取り

障害のある方が、
より安心して荷物を受け取れる

Copyright Mirairo Inc.

鉄道の介助申請に関する2つの発表

国土交通省の鉄道介助申請に関する標準化調査業務に参画するとともに、日立製作所と基本合意書を締結し、連携に向けた共同検討を開始。
鉄道利用時の介助申請の円滑化に向けた取り組みを推進。

日立製作所との共同検討



日立製作所と基本合意書を締結
連携に向けた共同検討を開始

国土交通省の調査業務

地域交通DXプロジェクト
「COMmmmONS」

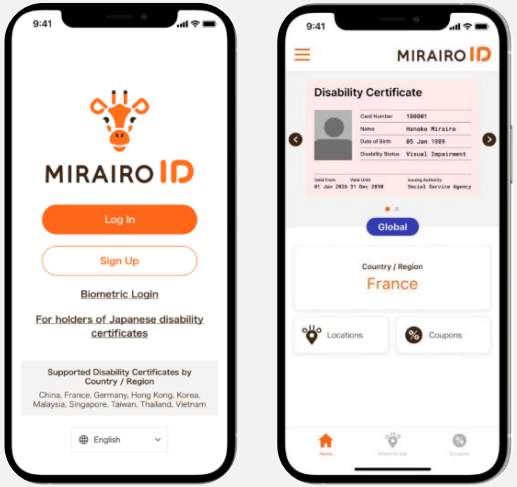
鉄道介助申請の標準化調査業務に参画

Copyright Mirairo Inc.

ミライロID インバウンド版

海外で発行された障害者手帳をミライロIDに登録し、日本国内の参画事業者で利用できる「インバウンド版」を提供開始。
10の国・地域、国内275社からスタートし、対応する国・地域と事業者の拡大を目指す。

海外の障害者手帳を登録



ミライロIDのアプリに登録
海外で発行された障害者手帳に対応

対象

10の国・地域から開始
※中国、フランス、ドイツ、香港、韓国、マレーシア、
シンガポール、台湾、タイ、ベトナム

参画

275社（国内）

これから

対応する国・地域と国内事業者を順次拡大

Copyright Mirairo Inc.

人材紹介サービス「ミライロ・キャリア」

2026年7月の法定雇用率引き上げや企業の事業部門における障害者採用ニーズの拡大を背景に、ミライロIDのユーザー基盤を活かした人材紹介サービスを開始。求職者の希望や必要な配慮と企業の採用ニーズを結びつけ、障害者の就業機会の拡大を目指す。

障害のある方の選択肢を拡げる



ミライロIDのユーザー基盤を活かし、
障害のある求職者と企業をつなぐ

市場の変化

- 法定雇用率は2.5%から2.7%へ
- 企業の採用チャネルも多様化

企業の課題

採用人数の確保（量）だけでなく、職務適性や必要な配慮を踏まえたマッチング（質）が重要

ミライロ・キャリアの強み

ミライロIDユーザー基盤を活かし、求職者と企業をつなげられる

Copyright Mirairo Inc.

ユニバーサルマナー検定(雇用)

職場での障害理解へのニーズを背景に、「ユニバーサルマナー検定(雇用)」を提供開始。
従来の接客業中心から、製造業をはじめ障害者雇用に取り組む幅広い企業へ対象を拡大し、新たな顧客層の開拓を目指す。

接客の場から、働く場へ



明日から現場で使える具体的な
対話スキルと環境調整の技術を習得

背景

- 特例子会社に加え、
  事業部門での採用が拡大
- 精神障害者・発達障害者への理解や対応の
  重要性が高まる

内容

- 精神・発達・知的障害の内容を拡充
- 合理的配慮を対話で見つける方法を学ぶ

対象

- 接客業中心から、障害者雇用を行う企業へ
- 大手メーカーなど、新たな顧客層へ展開

Copyright Mirairo Inc.

2027年9月期 業績予想

1. 会社概要 p2

2. 2026年9月期 通期決算ハイライト p18

3. 2026年9月期 事業トピックス p25

4. 2027年9月期 業績予想 p31

Copyright Mirairo Inc.

2027年9月期 業績予想

2027年9月期は既存事業の収益基盤を強化するとともに、ミライロ・キャリアやミライロDBなど新規事業への投資を推進。
単年度の利益率向上だけでなく、中長期的な成長基盤の構築を目指す。

売上高	売上総利益	営業利益	経常利益	当期純利益
925百万円	609百万円	123百万円	127百万円	82百万円
前年比 117.6%	前年比 123.2%	前年比 150.1%	前年比 151.2%	前年比 136.9%

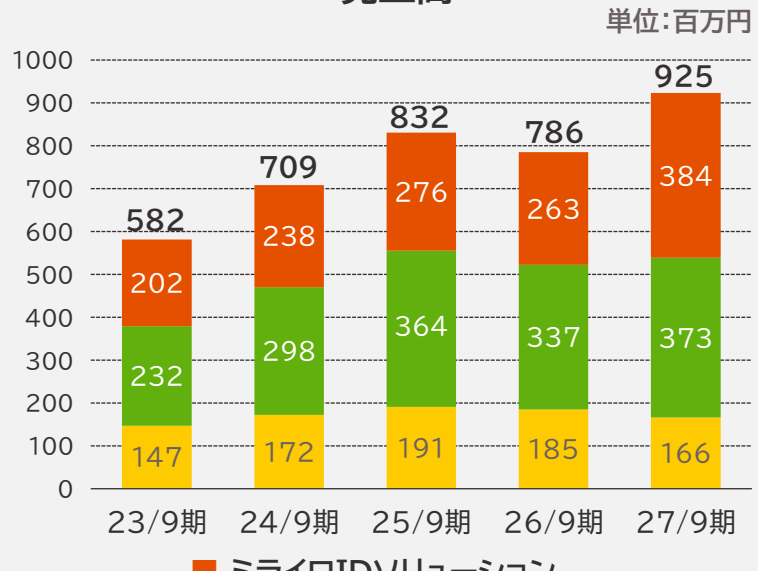
業績予想トピックス

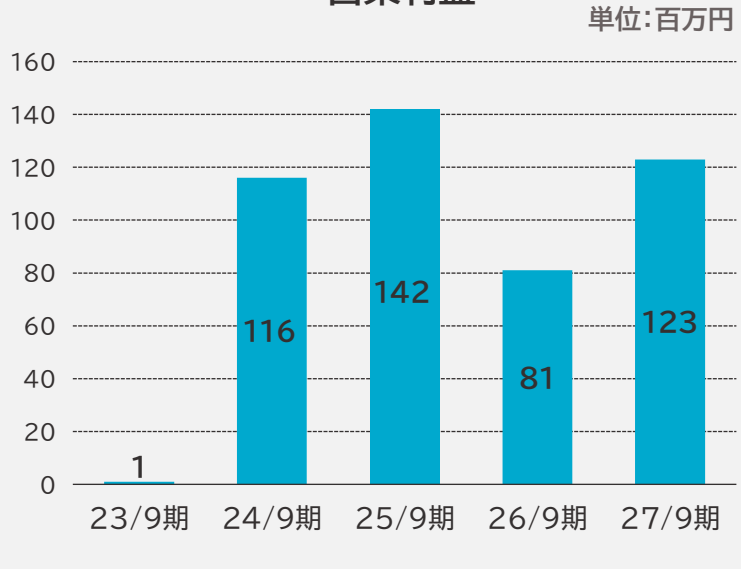
- 売上高は前期比17.6%増。うちミライロIDソリューションが121百万円増
  システムの連携及び開発の増収と、ミライロDB・ミライロ・キャリアの新たな収益を見込む
- 研修及び検定は、法定雇用率の引き上げを捉えた業界・企業特化型プログラムの横展開で36百万円増
  情報保障は継続取引を拡大し、大型案件への依存を低減
- 営業利益は50.1%増を計画。売上総利益率は約3ポイントの改善を見込む
  前期に先行して強化した提供体制の稼働率向上と、ミライロIDソリューションの構成比上昇による

Copyright Mirairo Inc.

通期業績推移

2027年9月期は、売上高925百万円(前期比17.6%増)、営業利益123百万円(同50.1%増)を予想。
ミライロIDソリューションを中心に売上を拡大し、投資を先行させつつ、営業利益率は10.4%から13.4%への改善を見込む。





Copyright Mirairo Inc.

「ミライロDB」を新たな成長戦略の柱に

ミライロIDの「証明」を中心とした利用基盤を土台に、本人が登録した希望や必要な配慮を活用し、
一人ひとりに合ったサービスを届ける「ミライロDB」へ展開。

ミライロIDの利用基盤を新たな価値につなげる



デジタル障害者手帳「ミライロID」ユーザー数

70万人以上

（2026年9月末時点）

送客・成約などに応じた手数料を受け取り、
収益の層を、もう一段重ねることを目指す。

これまで

障害者手帳の「証明」を中心とする共通基盤。
事業者の導入・連携による収益。

これから

一人ひとりの希望や配慮に沿った選択肢を提案。
利用者当たりの収益の積み上げを目指す。

情報の扱い

本人の同意なく、個人を特定できる情報を
企業に提供しません。

Copyright Mirairo Inc.

「ミライロDB」の仕組みと今後の事業展開

これまでの利用者全体への情報提供から、本人が登録した希望や必要な配慮に基づく、一人ひとりへの提案へ。
企業と連携して商品やサービスを提供し、利用者当たりの収益の拡大を目指す。

届ける価値と展開領域



利用者・ミライロDB・企業の関係



1. 利用者 → ミライロDB　障害の種別（障害者手帳に基づく情報）、希望や必要な配慮
2. ミライロDB → 利用者　一人ひとりに合った商品やサービス
3. 企業 → ミライロ　送客・成約などに応じた手数料

活用する情報

障害者手帳に基づく障害の種別に加え、本人が登録した希望や必要な配慮などを活用。

企業への提供価値・収益

必要とされる商品・サービスを適切な利用者へ届ける機会を提供し、送客・成約などに応じた手数料を企業から受け取る。

今後の事業展開

「ミライロ・キャリア」を先行事例に、生活の幅広い領域へ展開を目指す。

※ 本人の同意なく、障害者手帳に基づく情報を含む個人を特定できる情報を企業に提供しません。

Copyright Mirairo Inc.

MIRAIRO

大阪本社…大阪市淀川区西中島三丁目8番15号
東京支社…東京都品川区東五反田五丁目26番5号

株式会社ミライロでは「障害者」と表記しています。「障がい者」と表記すると、視覚障害のある方が利用する
スクリーン・リーダー（コンピュータの画面読み上げソフトウェア）では「さわりがいしゃ」と読み上げられてしまう場合があるためです。
「障害は人ではなく環境にある」という考えのもと、表記のみにとらわれず、社会における「障害」と向き合っていくことを目指します。

Copyright Mirairo Inc.